

2018年度 北京師範大学留学報告書

期間：8月27日（月）～1月7日（月）

新潟国際情報大学 国際学部国際文化学科
21017078 多賀駿人

目次

1	留学先及び留学期間.....
2	留学先概要.....
3	留学目的.....
4	留学内容.....
4-1	留学スケジュール.....
4-2	詳細.....
5	所感.....
6	おわりに.....
	謝辞.....

付録

	日誌・記録.....
--	------------

1. 留学先及び留学期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

期 間：2018年8月27日～2019年1月7日

2. 留学先概要

<大学概要>

創立から100年を超える歴史があり、中国の教育系総合大学のトップ大学で教師育成、教育分野の研究面で国内をリードしている教育大学である。中国では初の師範大学で、教育学の分野で活躍する数多くの人材を輩出している。本科教科のほかに、対外漢語教育のプログラムが充実し、多くの留学生が在学している。また国際交流も積極的であり、日本を含め海外50余りの大学と交換留学プログラムを提携している。

3. 留学目的

今回の留学目的は、世界でもトップレベルの経済成長をしている中国に実際に行き日本との違いを肌で感じる事が一番であった。もちろん中国語のスキル向上、国際交流、中国文化の体験も必須ではあるがそれ以上に現在の中国はどのようなものであるかをこの目で確かめたかった。ニュース、新聞には毎日のように中国は顔を表している。日本では中国の印象、イメージはあまり良いものは聞かないが実際はそうではないかもしれない、そして事実は実際に行かなければわからないと思い留学を決断した。また語学勉強は後の人生で少なからず身になるので勉強するなら本場でという思いもあった。

4. 留学内容

4-1 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである

月	日	午前	午後
8月	27日	日本発	北京着 入寮手続き
	28日	口座開設	携帯購入
	29日	入学手続き	
	30日		クラス分けテスト
	31日	入学式	
9月	2日	教科書購入	
	3日	授業開始	
	9日	日中交流会	日本人会新入生歓迎会
	22日～24日	内モンゴルツアー	
10月	1日～7日	国慶節	
	30日	口頭試験	
11月	1日～2日	中間試験	
	10日	HSK 試験	
	12日～18日	江西研修旅行	
12月	18日		新潟県人会
	25日	口頭試験	
	27日～28日	期末試験	
1月	4日		卒業式
	7日	北京発	日本着

4-2 留学詳細

< 1 > クラス分けテスト

筆記試験、口頭試験合わせて 90 分のテスト。この結果によりクラス編成がされる。各レベルに合わせたクラス編成となる。

< 2 > 日中交流会

北京師範大学の日本語学科の生徒との交流会。お互いに準備した出し物を披露しあう。その後 5 人グループになりお互いの紹介をする。後に一緒に食事や勉強や出かけることもありお世話になる。

< 3 > 内モンゴルツアー

北京にある Uplus クリニック主催の 2 泊 3 日の内モンゴルツアー。日本語ガイド有り、他大学の日本人留学生も参加するため交流することもできる。乗馬、ラクダに乗ったり観光名所に訪れる。めったにできない体験を経験できる。

< 4 > 中間、期末試験

テストはスピーキング、リスニング、リーディングの 3 教科あり、筆記試験があり、スピーキングには口頭試験も加わる。

< 5 > HSK 試験

参加は個人申し込み。会場も師範大学から近く交通の便も良い。HSK の資格は 4 級以上で奨学金が受けられる。

< 6 > 江西研修旅行

単位取得のため参加必須。旅費の半分は大学側が負担。陶器で有名な景德鎮などをめぐり様々な文化体験ができる。レポート提出あり。

< 7 > 新潟県人会

北京を中心に新潟県にゆかりある日本人の方たちが主催されている 2 か月に一度開かれている。食事をしながら今後の生活に役立つ大人の意見や経験をたくさん聞ける良い交流の場である。

5. 自己評価

< 1 > 目的の達成度

今回の留学においての当初の目的、現在の中国の状況を肌で感じることであったが、思った以上に実感できた。中国の経済、生活は今の日本よりはるかに進歩した技術が使われていて、実際に生活をしてみて非常に優れていると感じた。また中国のイメージもがらりと変わった。偏見の目も多少あったが中国人は親切、熱心、そしてなにより友好的であった。日本にいただけではわからない中国の良さを体感できた。

学力面では毎日授業で中国語を耳にするため自然と慣れていき帰国するころにはかなり聞き取れコミュニケーションをとることができるようになっていた。たくさんの交流を通して異文化理解をすることができた。HSK4級も取得することができ語学力は伸びたと実感した。

生活面では海外に長期滞在することで自己管理の徹底に気を付けることができた。食生活にも気を使い、1度も体調を崩さず留学を終えることができたのは評価できると考える。

< 2 > 課題

課題を挙げるならばもっと積極的に行動してもよかったかなと考える。自分からもっとコミュニケーションをとりもっと深く物事を追求することができたのではないかと考える。

謝辞

今回、留学をするにあたりたくさんの方々への支援、お世話のおかげで留学が成功できました。留学前の指導に当たってくださった區先生、佐藤先生、留学先でお世話になった黄薇さん、北京師範大学日本人会の皆さん、師範大学で指導してくださった先生方、その他多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。また、国際情報大学からいただきました奨学金により充実した派遣留学を実現できました。心より感謝いたします。

付録：研修日誌・記録

9月3日 授業開始

所感

一番初めの授業。最初から説明から何まで中国語。非常に焦った。しかしこれからはしっかり勉強して授業に食らいついていくという気持ちにもさせてくれた。クラスメイトは様々な国の人たち。年齢もみな私よりは年上で経験豊富。しかし優しくフレンドリーに接してくれたおかげで楽しくやっていけそうだと感じた。

9月8日 日中交流会

所感

日本にいた時から準備していた日中交流会。お互いに出し物を披露し楽しむ。日本語学科の生徒はとても日本語が流暢。私たちのつたない中国語を聴いてくれた。言語パートナーとして仲良くやっていく存在となる。

9月22日～24日 内モンゴルツアー

所感

今後人生において訪れるかどうか分からない内モンゴル。そんな場所に行ける機会はない。長時間のバスでの移動ではあったが見たことのない景色を見ながら楽しめた。ラクダに乗ったりゲルに泊まったりと楽しい体験ができ充実した。

10月1日～7日 国慶節

所感

1週間の大型連休。北京の観光名所に出かけた。故宮やオリンピック公園、芸術区を巡ったがどの場所もたくさんの人でにぎわっていた。充実した連休であった。

11月1日～2日 中間テスト

所感

初めてのテストはどんなものかと緊張はした。しかし授業でやったことをしっかり復習し乗り越えることができた。口頭試験は苦手と感じたためここから頑張ることを改めて決意した。

11月12日～18日 江西研修旅行

所感

中国の陶器や土器等の名所である景德鎮では博物館や農村を回りその文化を体験し学んだ。世界遺産でもある三清山へ登り景色も楽しんだ。文化実習であったため中国の古代文化を学べた。

12月27日～28日 期末試験

所感

留学で勉強してきた成果を発揮する日。筆記試験、口頭試験とも中間試験より難しくなっていたが4か月勉強した成果を十分出した。

